令和７年度 工事検査における主な指摘事項について

§Ⅳ. 電気設備工事

１．一般共通事項に関すること

⑴ 工事実績情報サービス（CORINS：コリンズ）への登録

◦コリンズの登録（変更時含む）を期限内にしていない。
◦コリンズ登録申し込み確認書が添付されており、登録済み書類に差替えられていない。

⑵ 施工計画書

◦施工計画書が、施設特有の現場条件を反映したものとなっておらず、安全管理、施設運転への配慮などに関する記載がない。
◦施工計画書に社内体制表がなく、社内検査、防災などの検査員体制が確認できない。
◦安全管理計画に学校内工事や高所作業など、現場特有の条件に関するものがない。
◦トランス入替工事の計画書が、停電だけとなっており、搬入計画がない。
◦道路照明工事にて、施工計画書が公道、夜間工事を踏まえた内容となっていない。
◦石綿作業主任者、酸欠硫化水素作業主任者など資格を要する作業主任者が記載されていない。
◦石綿含有廃棄物の処分に関する記載などがない。
◦変更契約や一時中止などにより工期が変更になっているのに修正、更新がなされていない。
◦施工計画書に示された試験方法を実施していない。

⑶ 実施工程表（ネットワーク図）

◦計画工程と実施工程が併記されていない。
◦契約変更や一時中止などにより工期が変更になっているが、変更工程表が作成されていない。
◦撤去工事が記載されていない。

⑷ 工事外注計画書・報告書

◦下請業者の暴追誓約書にて、旧様式のものが使用されている。
◦下請業者暴排誓約書が契約締結日までに収受されていない。
◦下請業者暴排誓約書を全下請業者から徴収していない。

⑸ 使用材料等承認申請書・承諾図

◦鋼材加工品などの製作物において、製作図に鋼材の種類、寸法、溶融亜鉛メッキ仕様などが記入されていない。
◦盤類で承諾図と、納品物の遮断器の仕様が違う。
◦盤類のアンカーボルトの耐震計算書が添付されていない。
◦分電盤の承認図、完成図において、誘導灯回路が現場と違って漏電遮断器となっている。
◦高所照明器具の灯具落下防止についての仕様確認がなされていない。
◦打合せにより変更となった器具の変更後の承認図が添付されていない。

⑹ 施工体制台帳・体系図

◦下請業者との契約書が添付されていないものがある。
◦有資格者施工における資格者証のコピーが添付されていない。
◦外国人就労者の在留カード、雇用証明のコピーなど資格が確認できるものが添付されていない。

◦外国人労働者の在留許可期間が工期の変更により期限が切れているが、その後の書類などがない。

⑺ 保険証（火災保険･損害賠償責任保険）・労災保険納付書

◦年単位で加入している保険で、工期中に満期になっているものの、継続の証書が添付されていない。
◦法定外労災保険の加入がわかる資料が添付されていない。
◦ JV 工事にて法定外労災保険が共同企業体ではなく親業者での加入となっており、子の業者の補償がわからない。

⑻ 安全管理記録など

◦毎月の安全協議会報告が写真だけとなっており、各月の協議会報告書が確認できない。
◦現場入場されているはずの人の新規入場者教育記録、KY 記録がない（下請現場代理人、主任技術者など）
◦日報等で現場入場が確認される人の新規入場者教育記録が無い。
◦酸欠作業において施工計画書記載に記載された体制で実施されていない。有資格者の立会いが確認できない。
◦酸欠作業において測定、作業記録が作成されていない。または、記載に不足がある。
◦仮設足場について一定規模、期間以上の設置についての労働基準監督署への届け出が確認できない。
◦石綿作業主任者の選任がなされていない。
◦石綿作業の掲示がなされていない。
◦仮設足場の設置時および、日常点検記録を添付されていない。
◦クレーン作業時の写真がなく、人員配置、荷吊状況、アウトリガーなどの安全状況が確認できない。

⑼ 打合せ記録書

◦議事録に市監督職員の承認が確認できるサインなどがない。
◦打合せ議事録において、質疑への回答がないままになっている。
◦設計変更や仮設物設置の関する打合せ議事録などがない。
◦分電盤の遮断器の仕様や照明器具の変更の協議記録がない。
◦試験、施工などで標準仕様書等に示された方法ではできないときの協議記録がない。
（照度測定、接地極の深度など）

⑽ 工事日報

◦日報に毎日の現場代理人が把握する内容が記載されていない。

⑾ 産業廃棄物処理計画書･報告書・フロン回収報告書

◦産業廃棄物マニフェスト A 票の照合確認欄に、処理確認日が記入されていない。
◦産業廃棄物搬出時のフレコンバッグの中身が確認できる写真がない。
◦自社による車両に産業廃棄物運搬の表示がわかる写真がない。
◦産業廃棄物の搬出写真において、現場積込み前後の写真が不足している。
◦外灯工事等で自社に廃棄物を仮置きするときの、柵や該当する物がわかる写真がない。

⑿ 工事申請書・検査済証写し（電気･消防･その他）

◦消防設備設置届などの返却副本の原本が引き継ぎ書類に添付されていない。

⒀ 検査報告書（社内検査･設計事務所検査･市下検査）

◦社内検査、市下検査での写真において、指摘箇所および是正状況がわかるものがない。
◦火災報知器の配線補修に関する届け出について、消防への確認がされていない。

⑭ 工事写真

- 工事写真において同じ物や場所を細かく撮りすぎたものや、同様なものの重複、単純な作業状況のみを撮影したものが非常に多く、整理が不十分。
- 資格を要する作業で資格者が作業していることが確認できる写真がない。
- 接着アンカー施工写真にて、差込穴径、深さの計測写真が添付されていない。
- 地中埋設配管の写真にて土被り、埋設幅および配管の間隔がわかるものが不足している。
- アスベスト含有箇所の施工状況写真に、保護具の装着状況がわかるものがない。
- 施工途中や高所、細部の写真が不足している。
- 防火区画貫通部分の写真にて、施工者シールの記載内容がわかるものがない。
- 外灯ポール頭部灯具の落下防止ワイヤー取り付け状況がわかる写真がない。
- トルクレンチによる基礎ボルト締め付け管理となっているが、トルクレンチの設定値の写真がない。

２．各種工事に関すること

⑴ 電灯動力設備工事

- 高圧ケーブル端末処理作業者票が盤内に付けられていない。
- 壁掛分電盤にて躯体壁と盤の間の吸音壁（木製）の部分に鋼製スペーサーなどがない。
- 屋外の雨にあたる部分で、配管支持材固定に SUS 金物、ビスが使用されていない。
- 改修により回路が変更された盤に更新した回路図が入れられていない。
- 改修により負荷が変更になった回路で表示が変更されていない。（回路廃止に伴う予備表示も含む）
- 接地線で緑線以外（主に赤）のときの端子キャップによる表示がされていない。（基本は緑、ELB は黄色）
- 接地線で D 接地線と ELB 用 D 接地線の接続を誤っている。
- 盤内の接地端子台で ED と ELB 用の ED の区別がわかる表示がされていない。

⑵ 情報通信設備工事

- 改造した警報盤内の配線端末処理を行なっていない。
- 改修、変更した警報盤の表示の変更をしていない。（廃止による表示の消去（空白）を含む）
- 遠方監視装置の監視拠点における送受信試験記録がない。

⑶ プラント電気設備工事

- 中央、遠方監視装置の動作、表示、出力先、出力内容を確認できる試験結果表がない。
- 中央、遠方監視装置にて動作状況の表示が分かる画面写真などがない。
- 運転操作案、シーケンスフローなど運転操作方法を説明するものがない。
- 計測機器の承認図において測定可能範囲が記載されていない。

⑷ 各種工事共通

- 4 芯ケーブルで、緑線を電力用に使用している。また、接地線との誤解を防止する表示がない。
- キュービクルの床上げに伴い高さや重量が増えている箇所に対して、耐震強度計算書が不足していた。
- 配管支持で適切な支持間隔で支持材を設置していない。
- 10m を超える合成樹脂配管で伸縮接手を使っていない。
- 支持金物のボルト穴に対し機器配管など取り付けボルトのナット掛り代が不足している。
- 改修した既設制御盤に改修時期年月、盤改造図面、施工者名がない。
- 盤や腕金などの施工写真にて、アンカー取り付け状況の写真がない。
- プルボックス内でケーブルに余裕を持たせた配線がされていない。

◦防火区画貫通部分の施工状況の写真がない。工法確認シールがない。
◦壁面の避雷導線が既設金属配管と交差するところに保護管などが設置されていない。
◦完成届提出後に仮設物が残っている。また、残さざる得ない場合の協議録がない。（仮設事務所など）

３．試験、測定に関すること

⑴ 共通事項

① 測定記録書

◦測定時の日付、天候の記載がない。
◦試験機器の個体番号の記載がない。
◦測定者名、資格等の記載がない。
◦校正証書、機器の製造番号の写真がない。
◦校正証書と機器写真の製造番号が違う。校正された機器で計測されたものかわらない。

②写真

◦測定状況写真がない。
◦計器の表示値が読めない。（小さすぎる、ピンボケ、反射）
◦写真と記録書の日付、測定値が一致していない。

⑵ 絶縁抵抗測定

◦何の基準に準じた印可電圧、良否判定とするか示されていない。（電気設備工事管理指針、電技など）
◦試験印可電圧に誤りがある（適用基準、回路電圧、新設・既設）
◦単相、三相を取り違えた記載になっている
◦線間、対地間の記載がない。また、線間対地間を取り違えた記載になっている。
◦線間は測定ができない回路で測定された記載になっている。
◦新設幹線回路で測定していない。
◦測定状況写真で説明に盤名、回路名がない。記録書との照合が出来ない。
◦測定状況写真で測定器の電圧切り替えスイッチ隠れており、試験電圧が確認できない。
◦測定状況写真はあるが測定記録書の記載がない。

⑶ 接地抵抗測定

◦測定状況写真で埋設場所がわからない（極端なアップ、周囲が写っていない）
◦測定状況写真で説明に設置場所の説明がない。記録書との照合が出来ない。
◦埋設状況写真で接地極の埋設深さが分かるものがない。(穴の深さではない)
◦埋設状況写真で 2 本以上の接地極（EC と ED,ED と ED（ELB）など）の離隔距離が分かるものがない。
◦埋設状況写真で地中埋設保護管やリード端子接続部分を写していない。
◦埋設深さが取れないときの協議がなされていない。また議事録がない。
◦キュービクル内の接地抵抗測定で、端子台に二次側が接続された状態で計測されているため、接地極ではなく系統全体の測定となっている。

⑷ 照度測定

◦測定記録書に照度測定の時間の記載がない。（外光影響：日没後か否か）
◦測定状況写真にて、床面以外（事務室、教室等での机上面）の測定高さが分かるものがない。
◦記録書に書かれている測定高さと写真での実施の高さが異なる。（机上面の高さはものにより異なる）

◦ 測定況写真にて測定地点の記載がないため、測定結果表に示された場所との照合ができない。
◦ 外灯の照度測定にて施工計画書に示された箇所数、方向、距離での測定となっていない。
◦ 照度測定を床に養生シートを張った、床からの反射が異なる状態で行っている。
◦ 測定面の高さ、外光影響など変則的な測定となる場合の方法についての議事録、承認がない。

⑸ 機能、操作、監視、制御、通信

◦ 制御機器類で信号動作試験確認の記録がない。
◦ 調光装置やパターン照明の動作試験確認の記録がない。
◦ コインタイマーの動作確認記録がない。
◦ 遠方操作機器にて遠方からの操作、PC 表示等で動作の試験確認の記録がない。
◦ 運転監視装置の監視画面や、警報出力、発停等の動作確認など記録がない
◦ TV 受信設備、監視カメラの映像確認の試験結果記録、写真がない。
◦ 音響機器等で現場における動作確認記録が無い。また、試験立会人の記載がない。
◦ 火災報知器の消防検査記録、または動作確認記録がない。
◦ ポンプ、ファン等の試験記録に運転電流値の記載がない。
◦ 計装機器で現場設置後の動作を確認した記録がない（流量計等）
◦ 動作確認記録が現場設置日よりも前の日付のものが出されており、工場試験、単体試験、実負荷試験がわからない。

⑹ その他

◦ 施工計画書で施工チェックリストを提示されているが、実績が作成されていない。
◦ 特記仕様書で指定された維持管理用完成図書作成されていない。